

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

東京都渋谷区

自治体名：東京都渋谷区

担当課名：学びとスポーツ課

電話番号：03-3463-3296

1.自治体の基本情報

基本情報	
面積	15.11 km ²
人口 (令和6年10月1日時点)	231,751人
公立中学校数	8校
公立中学校生徒数 (令和6年5月1日時点)	2,003人
部活動数 (令和6年5月1日時点)	57部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	渋谷区スポーツ推進計画（第二期）策定済 令和7年度渋谷区部活動地域移行推進計画策定予定

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

1 生徒のニーズを踏まえた運動部・文化部の設置

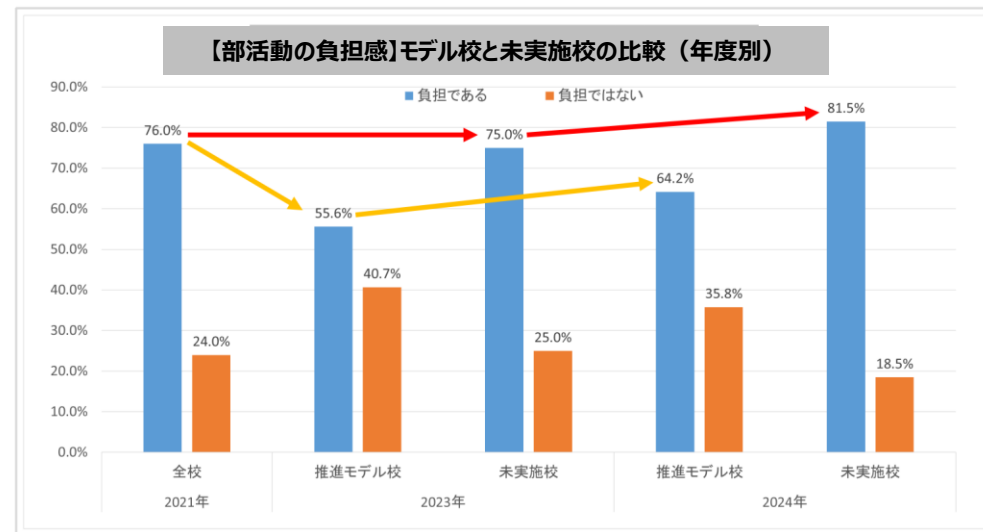
学校によって設置されている部活動の種目が限定され、生徒が希望する種目が必ずしも整っていない。例えばサッカー部は、8校の区立中学校の内3校のみにしかなく、すべての学校でサッカーを行うことはできない。また、文化部への希望や、障がいのある生徒等幅広く、変化する生徒のニーズには応えきれていない。

👉 **生徒のニーズに沿った部活動を設置するとともに、部活動の合同化を推進する。**

2 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革

部活動は長年、教員の献身的な取組によって支えられており、長時間勤務の要因、指導経験がない教員の負担など大きな課題となっている。

👉 **教員の負担軽減を考慮した適切な指導体制の構築に取り組む。**



区立中学校教員対象意識調査

回答者数 2021年108人、2023年105人、2024年107人

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



- 事業全体統括
- 学校関係者との調整
- ユナイテッドコーチ運営/質の高い指導者育成
 - ・指導メソッド確立
 - ・指導評価プロセス確立
 - ・分野にとらわれずにコーチ間で連携/学べる場を設定

●行政組織内での役割分担

◎教育委員会（教育指導課）

- ・学校現場調整

◎首長部局（学びとスポーツ課）

- ・中学校部活動支援（一般財団法人渋谷区スポーツ協会へ業務委託）

年間の事業スケジュール

令和6年4月	（代々木・原宿外苑中） 昨年度から継続。 新年度キックオフミーティング
令和6年5月	新入部員の活動開始 保護者向け説明会実施
令和6年6月～	（広尾・松濤中） モデル校体制へ順次切り替え、 部活動保護者説明会
令和6年6月	講習会（指導者の在り方・安全管理）実施
令和6年7月	モデル校関係者プロフィールの 配布（どのようなスタッフが現場 に入っているかがわかるよう、写 真入りプロフィールを作成）
令和6年10月～	陸上部や野球部の合同練習会 実施
令和6年11月	・モデル校顧問への満足度アン ケート、ヒアリング実施 ・児童・生徒・教員向け意識調 査実施
令和6年12月	モデル校連絡会実施
令和7年1月	学校管理職面談（アンケート・ ヒアリングフィードバック） 新入生保護者会
令和7年1～2月	新入生保護者会

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	区内中学校8校中4校	実施した地域クラブ総数	38クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		29部活
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		9クラブ
全体の指導者数	39人	全体の運営スタッフ数	延べ28人

②各クラブに関すること

モデル校名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者(学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数(他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
代々木中学校	(一財)渋谷区スポーツ協会	バレーボール、バスケットボール、野球、サッカー、硬式テニス、陸上、水泳、剣道、卓球	月16回程度	平日放課後2時間程度 休日2～3時間程度	1年生71人 2年生63人 3年生101人	令和6年4月～令和7年3月	代々木中学校	15人	6人(内、兼務5人)	0円	部活動
原宿外苑中学校	同上	サッカー、陸上、女子バレーボール、野球、男子バスケットボール、女子バスケットボール、ソフトテニス、卓球	月16回程度	同上	1年生77人 2年生63人 3年生51人	令和6年4月～令和7年3月	原宿外苑中学校	10人	6人(内、兼務5人)	0円	部活動
松濤中学校	同上	男子バスケットボール、女子バスケットボール、男子バドミントン、女子バドミントン、陸上、野球、硬式テニス	月16回程度	同上	1年生56人 2年生42人 3年生46人	令和6年6月～令和7年3月	松濤中学校	7人	8人(内、兼務7人)	0円	部活動
広尾中学校	同上	バスケットボール、バドミントン、野球、ソフトテニス、卓球	月16回程度	同上	1年生12人 2年生30人	令和6年6月～令和7年3月	広尾中学校	7人	8人(内、兼務7人)	0円	部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- モデル校4校内合同練習会
 - ・野球部（代々木・原宿外苑・広尾・松濤）
 - ・陸上部（代々木・原宿外苑・松濤）

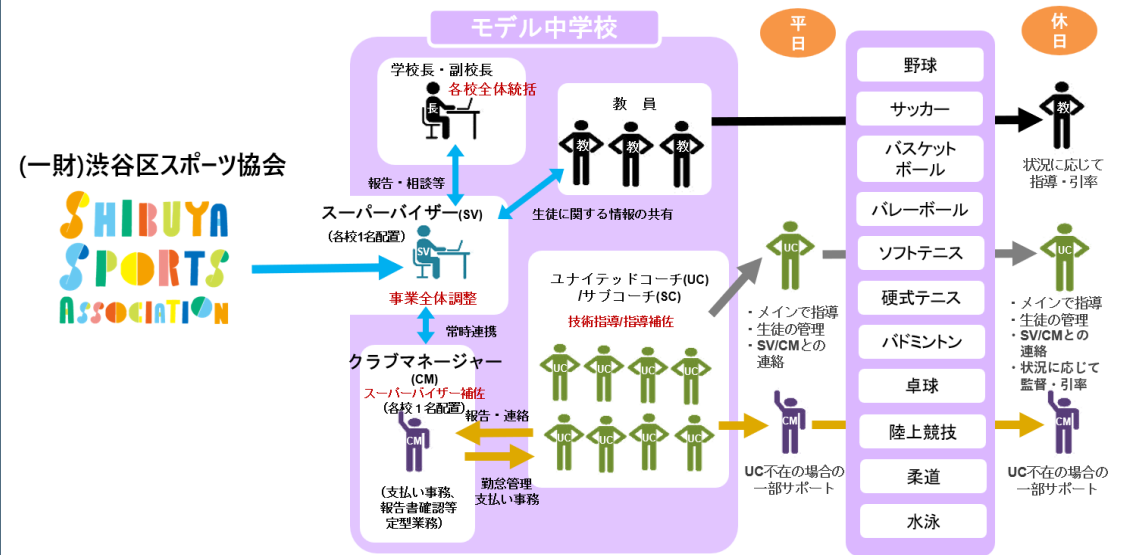
2.実証内容と成果

主な取組例

●原宿外苑中学校 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	サッカー、陸上、女子バレーボール、軟式野球、男子バスケットボール、女子バスケットボール、ソフトテニス、卓球
運営団体名	一般財団法人渋谷区スポーツ協会
期間と日数	令和6年4月～令和7年3月 (月16回程度)
指導者の主な属性	運営事業者契約コーチ
活動場所	原宿外苑中学校
主な移動手段	徒歩
1人あたりの参加会費等(年額)	会費なし
1人あたりの保険料	災害共済給付(日本スポーツ振興センター) 生徒1人あたり: 460円/年 東京海上日動火災保険 指導者1人あたり: 7,060円/年

●運営体制図



●指導者や運営スタッフなどの役割分担

- スーパーバイザー (SV) 1名
役割: 事業全体調整役。学校長などへの報告・相談及び情報共有を行う。
- クラブマネージャー (CM) 1名
役割: SV補佐役。UCの勤怠管理や定型業務を行うとともにUC不在時の一部サポートに入る。
- ユニテッドコーチ (UC)・サブコーチ (SC) 10名
役割: 技術指導者。生徒管理や必要に応じて監督、引率を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

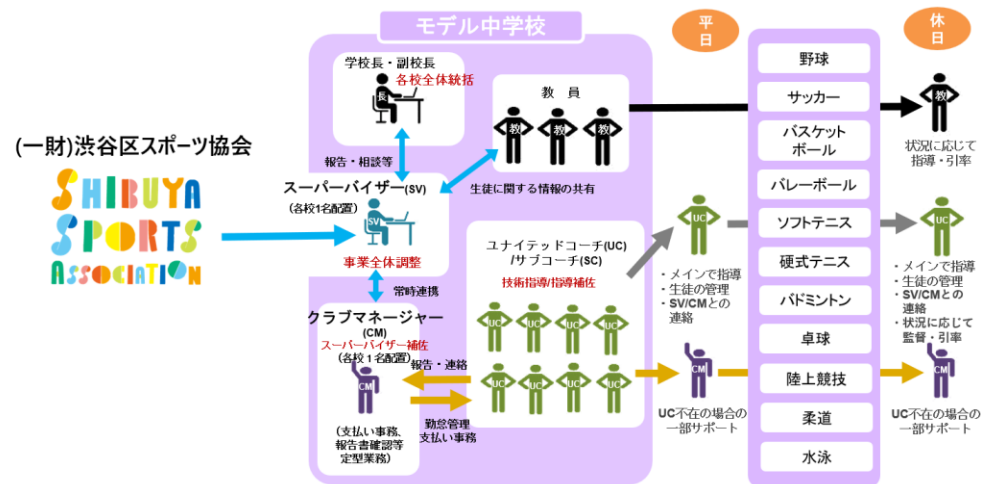
●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

一般財団法人渋谷区スポーツ協会（旧・一般社団法人渋谷ユナイテッド）が中心となり、既存の体制に配慮しながら、区・学校・指導現場と緊密に連携できるよう、全体をマネジメントするコーディネーターを配置する。運営体制を整備し、持続可能なスキームを確立する。

取組の成果

既存運動運動部活動の地域移行を推進する、「部活動地域連携モデル校」の取組を令和5年度から開始。渋谷区スポーツ協会がスーパーバイザー、クラブマネージャー、ユナイテッドコーチを配置し、平日・休日における運動部活動が円滑に、かつ安全に実施できるように支援を行う。教員の負担を軽減するとともに、各競技において専門的な指導者を配置することで、生徒の技術向上など、充実した活動を促進させる。



コーディネーターの具体的な動きの実績

【スーパーバイザー】

総括業務、研修会等の実施

【クラブマネージャー】

スーパーバイザー補佐業務、ユナイテッドコーチの事務業務フォロー

今後の課題と対応方針

- 顧問教員の負担軽減となるよう、適切な人材を確保し、生徒が安心・安全に活動できる環境を整備していく必要がある。
- 関係者間でのコミュニケーションを密にし、円滑な事業運営に努めていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

一般財団法人渋谷区スポーツ協会が中心となり、質の高い指導者を適切な規模で確保した。指導者は、各種目の専門知識および指導経験を持った人材を採用し、加えて、指導者に向けた研修などを適宜実施した。

指導者属性

運営事業者が契約している人材、または現場に適した人材を適宜発掘し、指導している。

種目

バレーボール、バスケットボール、野球、サッカー、硬式テニス、ソフトテニス、陸上、水泳、剣道、卓球、バドミントン

資格有無

採用時に有資格は求めていないが、各種目の専門知識及び指導経験のある人材を採用した。

取組の成果

安心して部活動に取り組んでもらえるように、各中学校生徒及び保護者に向けて各部活動のユナイテッドコーチリストを配布した。氏名、顔写真、競技歴、指導歴、保護者・生徒の皆様へ一言を記載している。

【代々木中学校プロフィール資料】

氏名	性別	経歴
	女性	＜職歴＞ 小学校 運動大会指導 全日本代表 中学校 運動大会指導 全日本代表 ＜指導歴＞ 2019-2024 代々木中学校 女子バレーボール部 監督 2019-2024 代々木中学校 女子バレーボール部 監督 2019-2024 代々木中学校 女子バレーボール部 監督
	女性	＜職歴＞ 小学校 運動大会指導 全日本代表 中学校 運動大会指導 全日本代表 ＜指導歴＞ 2019-2024 代々木中学校 女子バレーボール部 監督 2019-2024 代々木中学校 女子バレーボール部 監督 2019-2024 代々木中学校 女子バレーボール部 監督
	女性	＜職歴＞ 小学校 運動大会指導 全日本代表 中学校 運動大会指導 全日本代表 ＜指導歴＞ 2019-2024 代々木中学校 女子バレーボール部 監督 2019-2024 代々木中学校 女子バレーボール部 監督 2019-2024 代々木中学校 女子バレーボール部 監督
	女性	＜職歴＞ 小学校 運動大会指導 全日本代表 中学校 運動大会指導 全日本代表 ＜指導歴＞ 2019-2024 代々木中学校 女子バレーボール部 監督 2019-2024 代々木中学校 女子バレーボール部 監督 2019-2024 代々木中学校 女子バレーボール部 監督
	女性	＜職歴＞ 小学校 運動大会指導 全日本代表 中学校 運動大会指導 全日本代表 ＜指導歴＞ 2019-2024 代々木中学校 女子バレーボール部 監督 2019-2024 代々木中学校 女子バレーボール部 監督 2019-2024 代々木中学校 女子バレーボール部 監督

氏名	性別	経歴
	男性	＜職歴＞ 小学校 運動大会指導 全日本代表 中学校 運動大会指導 全日本代表 ＜指導歴＞ 2019-2024 代々木中学校 男子バレーボール部 監督 2019-2024 代々木中学校 男子バレーボール部 監督 2019-2024 代々木中学校 男子バレーボール部 監督
	男性	＜職歴＞ 小学校 運動大会指導 全日本代表 中学校 運動大会指導 全日本代表 ＜指導歴＞ 2019-2024 代々木中学校 男子バレーボール部 監督 2019-2024 代々木中学校 男子バレーボール部 監督 2019-2024 代々木中学校 男子バレーボール部 監督
	男性	＜職歴＞ 小学校 運動大会指導 全日本代表 中学校 運動大会指導 全日本代表 ＜指導歴＞ 2019-2024 代々木中学校 男子バレーボール部 監督 2019-2024 代々木中学校 男子バレーボール部 監督 2019-2024 代々木中学校 男子バレーボール部 監督
	男性	＜職歴＞ 小学校 運動大会指導 全日本代表 中学校 運動大会指導 全日本代表 ＜指導歴＞ 2019-2024 代々木中学校 男子バレーボール部 監督 2019-2024 代々木中学校 男子バレーボール部 監督 2019-2024 代々木中学校 男子バレーボール部 監督
	男性	＜職歴＞ 小学校 運動大会指導 全日本代表 中学校 運動大会指導 全日本代表 ＜指導歴＞ 2019-2024 代々木中学校 男子バレーボール部 監督 2019-2024 代々木中学校 男子バレーボール部 監督 2019-2024 代々木中学校 男子バレーボール部 監督

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者講習会の内容

- ・「クラブ部活動のガイドライン」※の説明
- ・生徒が主体的に活動するための基礎知識
- ・指導者に求めるコンピテンシーと自己評価の方法

※…渋谷区スポーツ協会が独自で作成した、指導の在り方や安全管理等を記した冊子。部活動地域移行推進モデル校、ユナイテッドクラブ、スポーツ協会等関係団体・指導者に配布し、統一された認識の元で徹底した安全管理を行う。



【指導者講習会風景】

指導者講習会の参加実績

- ・開催日： ①5月16日 ②5月24日
- ・開催回数： 2回
- ・参加人数： ①19人 ②18人
※後日アーカイブ配信 ①10人②47人

受講者の声

- ・指導をしているとどうしても勝たせることが優先になってしまうが、今日の研修を受講し、練習計画を見直し、子どもの成長に合わせつつ、勝つ喜びだけでなく、「遊び」や「コミュニティづくり」を意識しながら、競技力を上げていきたいと考えなおす良いきっかけとなった。
- ・自分の指導力を見直す良いきっかけとなった。JSPOが指導者向けの動画があるのは知っていたが見ていなかったので視聴し、渋谷ユナイテッドのガイドラインに沿った指導方法を目指していきたい。
- ・海外の事例もあり、勉強になった。ライフステージに合わせた指導を目指し、焦らず時間をかけて指導できればと思う。

今後の課題と対応方針

- 顧問教員の負担軽減となるよう、既存体制にも配慮しつつ、指導者の確保をしていく必要がある。
- 指導者向けの研修会を定期的を開催するとともに、生徒向けに実施したアンケート結果を活用し、リアルな生徒の声を反映した指導を展開できるようにする必要がある。
- より質の高い指導者を配置していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

部活動改革を推進するため、渋谷区が設立した「渋谷ユナイテッド」と、区内で70年以上の歴史を持つ「渋谷区体育協会」が合併し、令和6年度から『渋谷区スポーツ協会』が発足。当協会が中心となり、既存の体制に配慮しながら、区・学校・現場と緊密に連携を図ってきた。そして、関係者が一堂に会し、状況や課題を共有する定例打合せを実施した。

取組の成果

■定例会

学びとスポーツ課、教育指導課、渋谷区スポーツ協会の三者で定期的に打合せを行い、時機を逸することなく課題を共有し、課題解決に向けた方向性のすり合わせなどを行った。

・実施頻度 令和6年4月～令和7年3月（予定） 週1回

・出席者 学びとスポーツ課、教育指導課、渋谷区スポーツ協会

■連絡会

質の高い指導者の確保・育成を目指すとともに、日々安全な運営が行える体制を構築するために部活動現場レベルの課題共有や対応案の検討を行った。

・実施頻度 令和6年4月～令和7年3月（予定） 月1～2回

・出席者 学びとスポーツ課、教育指導課、渋谷区スポーツ協会、モデル校関係者



今後の課題と対応方針

- 顧問教員の負担軽減となるよう、指導者の確保を関係者と緊密に連携しながら行っていく必要がある。
- 関係者が一同に会し、現状や課題を共有できる場を定期的に行っていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組

取組事項

中学校部活動の地域化を加速させるために、令和5年度から実施している区立中学校の既存運動部活動の地域移行を推進するモデル校を拡充し、課題の抽出や課題解決策の検討を行った。

【モデル校の推移】

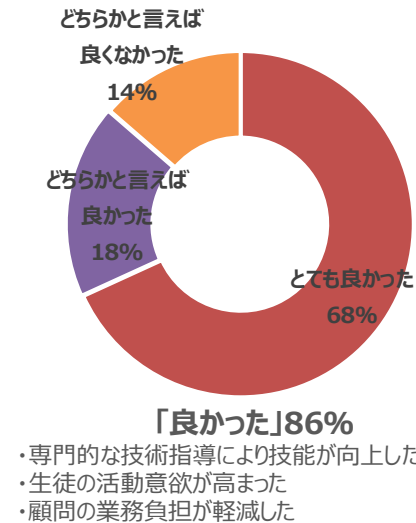
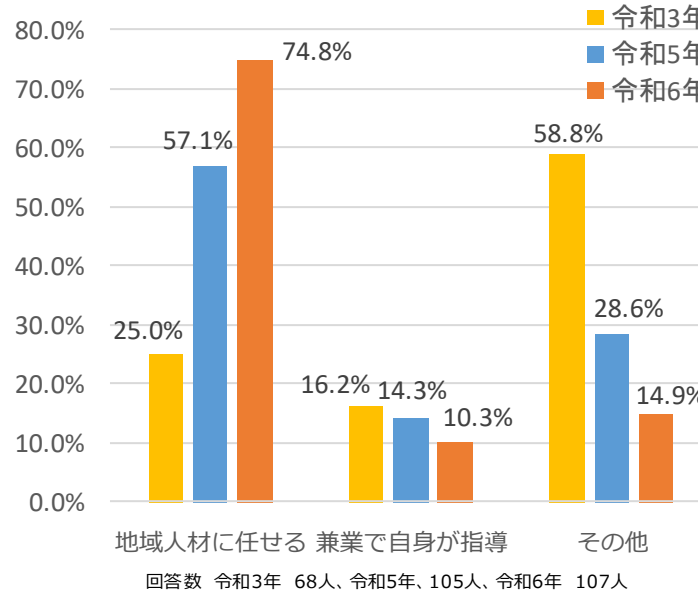
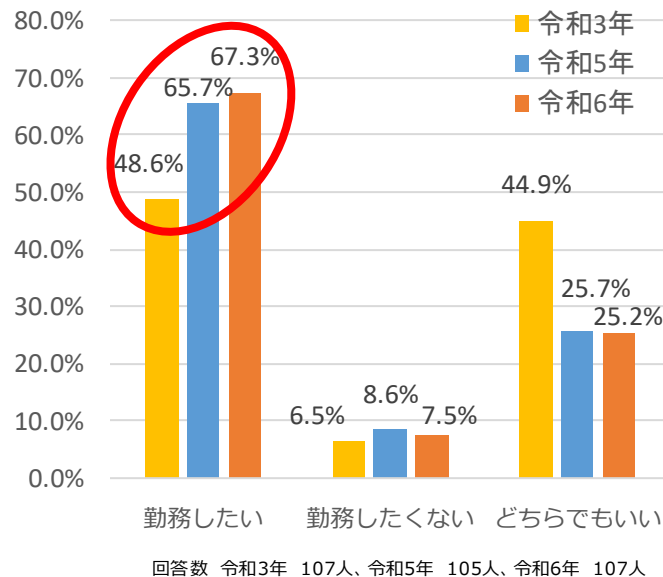
令和5年度 2校

令和6年度 4校(令和5年度2校+新規2校)

取組の成果

・教員向けのアンケートでは、「部活動の顧問をしない学校に勤務したい」と回答する教員は年々増加傾向にある。また、指導の担い手として「地域人材に任せる」と回答する教員が、74.8%まで上昇しており、地域移行に対するポジティブな意識が高まっていると思われる。

・部活動改革を実施しているモデル校への教員アンケートでは、ユナイテッドコーチを配置したことに対して86%が「良かった」と回答している。



総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

・新たに、モデル校としての運営を開始する学校にあたっては、各部活動顧問への課題の聞き取りや生徒の状況報告など、スーパーバイザーやクラブマネージャー、ユナイテッドコーチとの情報共有を学校側と行った。その中で、ユナイテッドコーチと生徒との意識疎通が図れなかったことや指導方法に不満があったことなど、いくつか課題は出てきたが、その都度、スーパーバイザーやクラブマネージャーが生徒や保護者の要求に真摯に向き合ってくれたことで、課題解決に繋がってきている。

・専門性の高いユナイテッドコーチの配置により、生徒の技術力や活動への満足感、保護者の安心感などが確実に向上している。特に生徒の技術力については、大会での好成績を残すなど顕著な成果が見られている。

●成果の評価

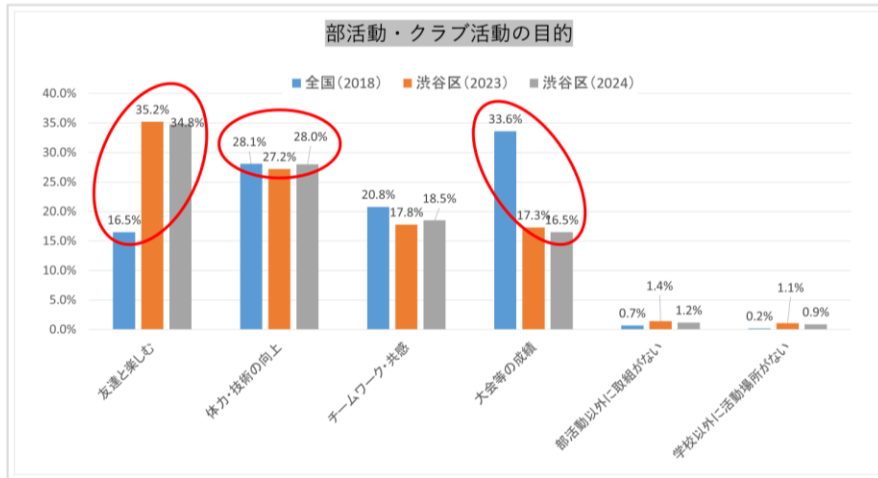
- ・部活動の指導をユナイテッドコーチに任せることで、教員は授業の準備や校務分掌、生活指導等の業務に専念できるようになり、負担軽減につながった。
- ・ユナイテッドコーチが専門的な指導者のため、生徒は質の高い指導を受けれるようになった。
- ・マネジメント業務を担うクラブマネージャーとスーパーバイザーが配置されたことで役割分担が明確になり、ユナイテッドコーチは指導に専念できるようになった。
- ・クラブマネージャーが、学校管理職、顧問との連絡調整役を担い、現場の課題解決を考え、実行することによって、円滑な部活動運営につながった。
- ・スーパーバイザーが、区やスポーツ協会が統一した方針をクラブマネージャー等を通じて各学校に伝達し、また、各モデル推進校の課題や成果を把握・共有することで、種目間、学校間の横連携を図ることにつながった。

●今後に向けて

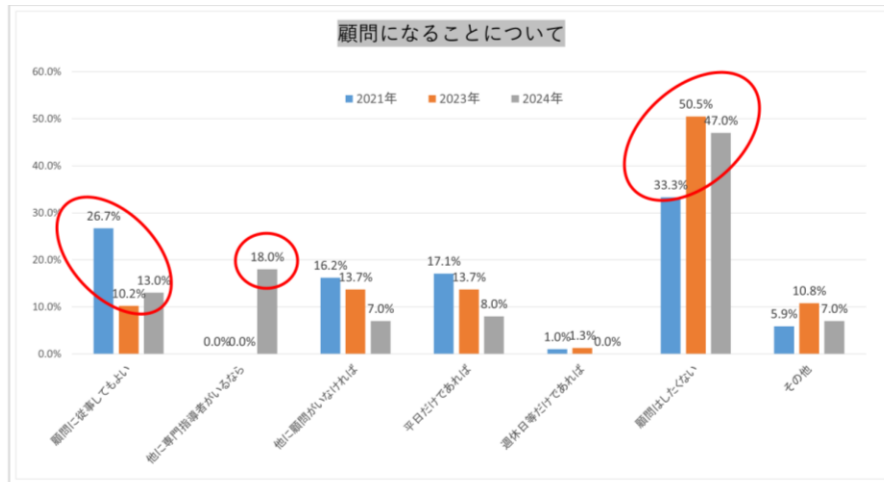
- ・令和6年度は、モデル校として4校の実施をしてきたが、令和7年度はさらにもう2校を加え、部活動改革プロジェクトを推進していく。
- ・生徒向けの意識調査から、部活動の目的として「友達と楽しみたい」と考えている生徒が多いことが分かったため、生徒が友達とやってみたい部活動のできる場を更に広げていく。一方で、競技力向上を部活動の目的にしている生徒もいることから、志向性の違い、複数種目の兼部、他校との合同部活動による種目の増加なども検討していく。

アンケート結果

●アンケート結果



区立中学校生徒対象のアンケート



区立中学校教員対象のアンケート

●自由意見

中学1、2年生

- ・練習時間や練習日を増やしてほしい。
- ・コーチの指導がよくてとてもいい。
- ・部員を増やしたい。
- ・部活の種類を増やしてほしい。
- ・楽しく活動したい。
- ・合同部活動や地域クラブではなくて、今まで通り自分たちの学校の人で自分たちの学校でやりたい
- ・学校にない部活動を作ってほしい。
- ・やりたい部活動がない。

教員

- ・地域移行を進めてほしい。(文化部も含めて)
- ・学校と地域が連携して部活動を実施できれば良い
- ・指導経験のない部活動は負担が大きい。
- ・生徒理解や生活指導の一環として教員が部活動を指導することは大きな意義がある。教員も負担を押さえた形で部活動と何らかのかかわりを持つべき。

広報資料

令和6年8月29日

令和6年度『部活動地域移行推進モデル校合同練習会』 開催概要

(1) 合同練習会の概要・目的

【概要】

令和6年度後半から2か月に1回程度、今年度の部活動地域移行推進モデル校（以下モデル校）を対象に、各学校を会場とした合同練習会を行う。

【目的】

- ①各校建て替え後の合同練習の可能性を見据え、他校へ移動して練習をするトライアル検証
- ②ユナイテッドコーチ（UC）同士の連携を図り、各コーチの得意分野指導方法を互いに共有することで、質を上げた指導につなげる
- ③モデル校の生徒同士の交流、多彩な経験の機会を提供する
- ④渋谷区スポーツ協会設立により、加盟競技団体（ジュニア育成事業等）と中学校部活動の連携および一貫指導体制づくりへのきっかけとする

(2) 対象の部活と選定理由

- ①野球部・各校の部員数が少なく単独では試合形式練習などが難しいため
対象学校・代々木中、原宿外苑中、広尾中、松濤中
- ②陸上部・昨年の合同練習会で生徒から評判がよかったため
対象学校・代々木中、原宿外苑中、松濤中

(3) 野球部について

読売巨人軍（以下、ジャイアンツ）と渋谷区スポーツ協会における連携により、野球部の合同練習会へジャイアンツアカデミーコーチ（元プロ野球選手等）を指導者として2回派遣いただく予定です。

(4) 実施概要

項目	【野球部】	【陸上部】
開催回数	全3回（10月、12月、2月） ※10月、12月はジャイアンツアカデミーコーチによる指導	全3回（11月、1月、3月） ※11月はコアプログラム（体力測定） コアプログラムについては下欄（5）参照
開催日時	①10月5日（土） 9:00～12:00 ②12月14日（土） 9:00～12:00 ③2月開催については調整中	①11月17日（日） 9:00～12:00（予定） ②1月開催については調整中 ③3月開催については調整中
実施会場	全3回ともに代々木中学校グラウンド（雨天時は体育館）	11月 渋谷区スポーツセンター大体育館 1月・3月 原宿外苑中学校グラウンド（雨天時は体育館）
実施内容メニュー	10月、12月 ジャイアンツアカデミーコーチとUCでメニューを調整 2月 UCが練習メニューを検討中	11月 コアプログラム 1月、3月 UCが練習メニューを検討中
実施会場への移動手段等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒引率はUCが行います ・基本は現地集合現地解散とし、事前にUCから各部顧問に参加引率の承諾をいただき実施します。 ・移動手段として自転車は不可とさせていただき、来年度以降は要検討といたします。 ・生徒の移動は各自自費でお願いします。 	
保護者の見学について	見学いただけます。但し、写真・動画撮影については、私的利用の範囲に留め、かつ肖像権に配慮いただきますようお願いいたします。また、ジャイアンツアカデミーコーチの撮影は許可を得ておりますが、撮影された画像（動画含む）の商業利用を目的としたご使用・掲載はお控えください。	
その他	各回合同練習会の様子を、写真並びに動画撮影する場合がございます。その際に、指導者だけでなく参加者全体が映り込む場合があります。それらは、渋谷区スポーツ協会における記録および広報目的として使用し、渋谷区への活動報告やHP上にて掲載される場合がございます。掲載をご希望されない場合は、事前にユナイテッドコーチにお申し付けください。	

(5) コアプログラムについて

「コアプログラム」とは、学校の体力測定とはちよつと違う、最新のマシンを使用したゲーム感覚の運動能力チェックです。スピード、パワー、アジリティ（俊敏性）、反応速度など、生徒の特徴を知って、陸上競技の様々な種目のスキルアップやトレーニング方法に役立てるのはもちろん、特に成長期に大事なケガ予防にも活かせる大切なデータを手に入れることができます。

以上

【保護者向け合同練習会案内】

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【陸上部合同練習会練習風景】

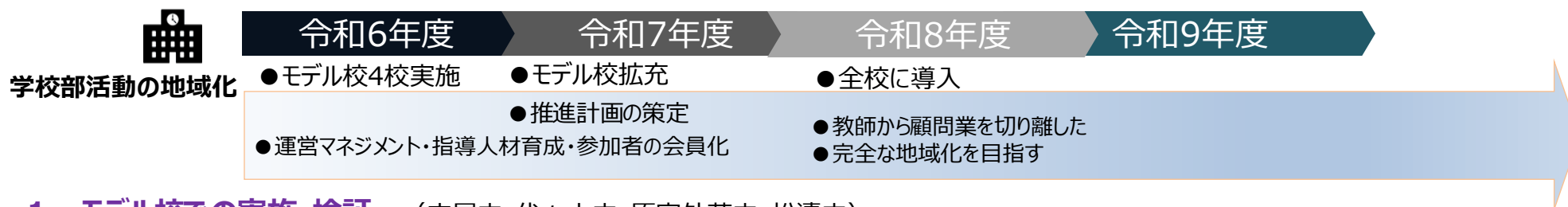


【広尾中学校ソフトテニス部練習風景】



【野球部合同練習会練習風景】

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



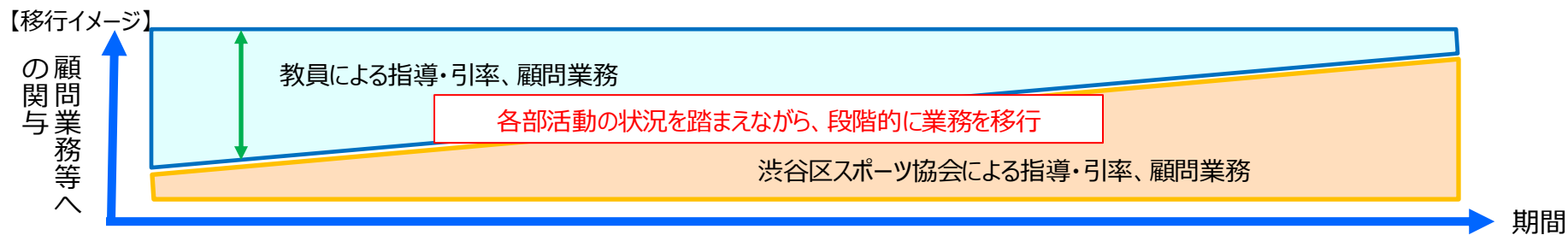
1. モデル校での実施・検証 (広尾中・代々木中・原宿外苑中・松濤中)

R6年度はモデル校2校を加え、区立中学校8校のうち4校で効果検証事業を実施。各校には(一財)渋谷区スポーツ協会がスーパーバイザー、クラブマネージャー、ユナイテッドコーチ/サブコーチを配置し、平日・休日における運動部活動が円滑に、かつ安全に実施されるよう支援を行う。

モデル校に配置	主な業務内容
スーパーバイザー (総括責任者)	総括業務、研修会等の実施 等
クラブマネージャー	スーパーバイザー補佐業務、ユナイテッドコーチの事務業務フォロー 等
ユナイテッドコーチ/サブコーチ	専門技術指導及び競技大会引率、顧問業務 等

2. 地域移行を検証する上でのポイント

- (1) 生徒に混乱が生じないよう、ユナイテッドコーチが大会において監督・引率を行えるよう関係各所と調整を行う。
- (2) 質の高い指導者を確保・配置するとともに、生徒が安心・安全に活動できる環境を整備する。
- (3) 行政・学校・(一財)渋谷区スポーツ協会でのコミュニケーションを密にし、円滑な事業運営に努める。



3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

